

「第2回後志利別川流域タイムライン検討会」

平成29年12月4日（月）今金町民センターにおいて、「第2回後志利別川流域タイムライン検討会」を開催しました。第2回検討会では、参画機関の防災行動の整理と、実施のきっかけを整理・検討しました。

- 開催日時 平成29年12月4日（月） 13:30 ~ 17:00
- 実施場所 今金町民センター 1階 大ホール
- 参加機関 今金町、せたな町、函館開発建設部、函館地方气象台 他17機関 57名

開会

開会にあたり今金町まちづくり推進課の寺崎課長から挨拶があり、「第1回検討会の後、意思決定ワーキングを開催し、両町の意思決定事項や役場内の各部署の行動計画の検討を行った。タイムライン作成においては、各関係機関と意見交換を行い合意形成を図ることが大切であり、本日から開始する検討会は重要な機会です。」と述べました。

その後、今金河川事務所の秋山所長から検討会への参画機関の拡大について説明がありました。



今金町役場
まちづくり推進課
寺崎課長

函館開発建設部
今金河川事務所
秋山所長



関係機関グループ



せたな町グループ



今金町グループ

防災行動抽出ワークショップ

第2回検討会では具体的な防災行動を抽出するために、「何を」実施するか、それを「いつ」実施するのか、に焦点を当てて、せたな町、今金町、関係機関の3つのグループに分かれてワークショップを行いました。

ワークショップ前半では、意思決定ワーキングで検討した両町の防災行動を基に、各関係機関が実施する防災行動を、実施するタイミング毎に抽出しました。

その後、各グループ内で意見交換を行い、各関係機関の防災行動の実施時期の確認や、各関係機関の防災行動での課題についても話し合われました。

講評

本日の検討会全体を通し、函館開発建設部の近添次長から講評をいただき、「タイムライン検討会という場で、各関係機関が連携しながら課題を直接話し合うことが、実際の災害対応時に非常に役立つものと思っている。検討会はまだ続くが、出来上がったタイムラインが少しでも災害を未然に防ぐものとなればと思う。」と述べました。



函館開発建設部
近添次長



会場全体の様子